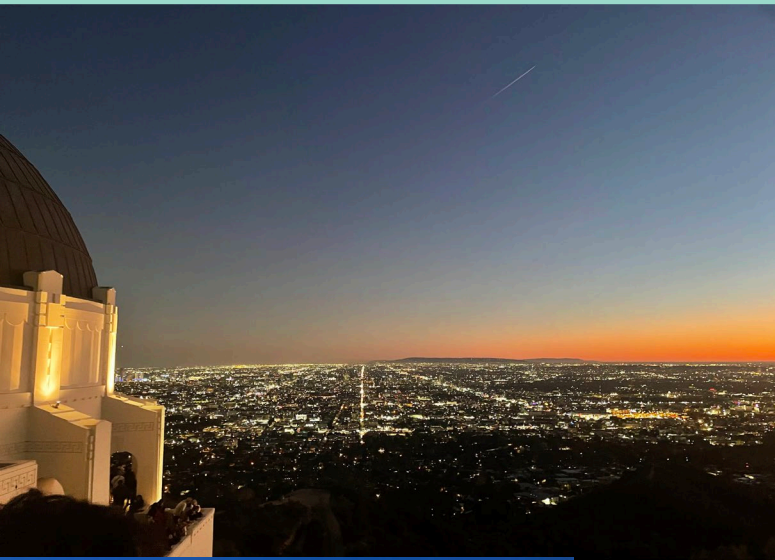


2024年春渡航



日本にはないスピーキングの授業が多く、とても新鮮でした。また、語学勉強のモチベーションが上がりました。

工学部 電子工学科 2年 加藤 倫太郎さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ・UCI4週間

大学の授業を受けながら、独自で英語の勉強のやる気が起きず、なかなか勉強時間が確保できずにいたので、英語勉強を集中して始めるきっかけになれば良いなと思い、このプログラムに参加しました。UCIのプログラムは4週間という短期間の語学留学ですが、平日は毎日UCIに通い英語の授業を昼から80分の授業を2コマ、計3時間ほど受けました。日本で受ける授業とは違い、スピーキングとリスニング中心の授業でした。1つ目の授業では、アメリカンカルチャーについて学びました。生活、食、スポーツなど毎日違うテーマを学びました。授業という感じはなく、教室外に自由に学習する事もたくさんありました。2つ目の授業は、リスニングとスピーキングの授業でした。毎日違うテーマについて複数人で話し合ったり、プレゼンをしました。自分の意見を英語で伝えることはとても大変でしたが、良い経験ができました。最初はスピーキングに対して抵抗がありましたが、同じクラスの友達と協力し取り組むことができました。休日はUCIのいろんなツアーに参加しました。ハリウッドやロサンゼルス、ディズニーランドに行きました。個人的に印象的だったツアーはNBAです。レイカーズの試合を観に行きました。本場の迫力でとても興奮しました。ツアーも楽しかったですが、自分でロサンゼルスやアーバインにショッピングに出かけたことやNBAのロサンゼルスダービーをツアーとは比べられないほど近い席で観戦できたことがとても楽しかったです。

このプログラムに参加して、新しい環境に自分の身を置くことで、自分の価値観などに変化が起き、たくさん刺激される4週間でした。また、UCIの学生や他大学、他学年、他学科などたくさんの友達ができることができました。日本で暮らす春休みとは違い、無駄がなくとても充実した4週間でした。これからは日本で英語力を鍛え、次は長期留学に挑戦したいです。



語学じゃなくてもいい。
色んな事を知れるいい機会。

工学部 電子工学科 1年 佐藤 優さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

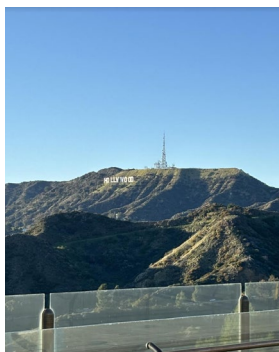
■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ・UCI4週間

結論から言うとこの4週間で自分はそんなに英語を上手に話すことができなかった。英語がうまくなった実感すらあまりない。それでも私はこの語学研修に行ってよかったと思う。

私はもともとこの語学研修に参加したくなかった。なぜなら言語が違うので話しが通じず1人になるのが怖かったからだ。また一緒に行く日本人もいままで関りがなかったので知らない人達だらけで不安だった。しかし親に勧められていくことにした。初日、飛行機に乗るときでさえ「行きたくない。」と思っていた。しかし同じ大学のみんな優しく、別の大学から来た日本人も話しかけてくれた。その時私はすごく安心した。また、ホストファミリー、現地の大学生、みんな優しくった。自分の下手な英語でも頑張って聞き取ろうとしてくれた。本当にうれしかった。一緒にいるうちにみんなと仲が良くなり、みんなでサッカーやポーカー、バーベキューなどをした。もちろんみんなでツアーに行き、一緒にサンフランシスコをまわったりディズニーに行ったりした。しかし終わりの日も近づいてきて語学研修最終日、私はとても悲しかった。もっとここにいたいと思った。もっと詳しく言うなら「もっとみんなと一緒にいたい。」と思った。その時私は、「いろんな人と会えて、自分はすごく楽しめていたんだ。」と実感した。今回の語学研修で私は毎日を楽しんでいた。それは、多くの人と一緒に過ごせたからだ。

今私は新しく色々なことを始めている。ドット絵をかいたり、コンピューター言語を学んだり。怖がってばかりじゃ楽しい人、ことに出会えないから。そして英語の勉強をしている。素晴らしい出会いができ、楽しい日々を過ごすために。





まずは挑戦すること！
英語学習の一歩目として
貴重な経験が出来ました。

デザイン工学部 デザイン工学科
1年 村田 あずきさん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アメリカ・UCI4週間

英語の勉強に対するモチベーションを上げるため語学研修に参加することを決めました。もともとアメリカに行ってみたいという思いがあり、友人の勧めでアーバイン校を選びました。私自身初めての海外で不安もありましたが、自分の英語力を少しでも向上させるためにも思い切って4週間のプログラムに参加することを決意しました。

滞在期間中は、平日は午後3時間の英語授業に加え、週2日のCPミーティングがありました。英語授業にはアメリカンカルチャーとスピーキング&リスニングの授業がありました。アメリカンカルチャーでは、アメリカと日本の文化の違いについて調べたり話し合いをすることでアメリカ文化への理解を深めました。また、スピーキング&リスニングでは、プレゼンやグループワークを通して発音やアクセントについて学びました。CPミーティングでは現地の学生とパートナーになって交流することで楽しく英語を学ぶことが出来ました。どの授業も教授や他学部、他大学の生徒と話す機会があり貴重な経験になりました。

4週間は長いようでとても短いです。もう1ヶ月アメリカに居たいと思えるほど予想以上に充実していました。沢山の新しい仲間と暖かいホストファミリーに囲まれて1生に1度の素敵な経験が出来たと心から感じています。英語の実力はまだまだですが、今回のプログラムを通して失敗を恐れずチャレンジする大切さや他国の人々と会話する楽しさを知ることが出来たので、これからの英語学習のモチベーションが格段にアップしたと思います。

今後は更なる英語力向上のためにグローバルPBLへの参加や2回目の語学研修参加を考えています。

現地の学生との交流を通して、英語学習のモチベーションが向上しました。

工学部 材料工学科 2年 高田 隼さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ・UCI4週間

出発前の私の英語力はさして高くなく、このまま語学研修に参加しても大丈夫なのか不安を感じていました。実際、プログラム初日のガイダンスでは、教師の話していることがほとんど理解できず、焦りを感じました。しかし、日を重ねるうちにだんだん耳が慣れてきて、ゆっくり話してもらえば話の概要程度は理解できるようになりました。ホストファミリーも優しく、私が聞き取りやすい速さで話しかけてくれ、私の英語の文法がおかしくても、理解しようと努めてくれました。そのため、しっかり意思疎通をすることが出来たと思います。

プログラムの中で印象に残っていることは、現地の学生との交流です。プログラムの一環として、週に2回、現地の学生1人と日本人学生5人の6人グループで活動する時間がありました。その現地の学生との会話を通して、文化の違いや感覚の違いを実感できました。また、私たちのグループの担当だった学生は日本語を勉強しており、時々日本語で話しかけてくることがありました。聞いたところ、日本語は独学であり、学び始めてから3年もたっていないとのことでした。しかし、彼女の日本語はかなり上手く、コミュニケーションを普通にとることが出来ました。また、他の現地の学生とも交流する機会がありましたが、多くの人がかかなり高いレベルで2か国語以上を話していることに驚きました。中には、日本語と英語をネイティブレベルで話せる人もいて、そうした人と実際に交流することで自分ももっと英語を話せるようになりたいという気持ちが強くなりました。

正直、1カ月という短い期間だったので、英語力が劇的に向上したというようなことはありませんが、今後英語の学習を続けるうえでかなり貴重な経験が出来たと感じています。上手に話せなくても意外と相手は理解してくれるので、英語力が理由で語学研修に参加するか悩んでいる人は、思いきって参加すべきだと思います。

ホストファミリーをはじめとする現地の人々との会話を通じてリスニングやスピーキングのトレーニングができた。

工学部 機械工学科 1年 戸仲 秀貴さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI4週間

英語が世界共通語として重要であることは知っていたので、使いこなせるようになりたいという気持ちがありました。また、自分が通っていた高校で北米研修旅行が計画されていたがコロナの影響で中止になってしまったのでこの機会にぜひアメリカに行きたいと思って参加を決めました。

現地では12時から3時までアメリカの文化についての講義とスピーキングやリスニングに関する授業を受けました。担当教員によって授業の雰囲気は違うと思いますが、自分が入ったクラスではグループディスカッション、プレゼンテーションやチームごとの動画制作があってとても楽しかったです。授業時間外はオプションツアーでディズニーランドやサンフランシスコ、ハリウッドを訪れ、それ以外にも友達と大学近辺のショッピングモールやボーリング場を訪れたりしました。他大学の人も接する機会があり、普段とは違う雰囲気の人と交流することもできます。ホストファミリーも非常に優しい方で夕食の時などに日常的な会話もできるので楽しく会話力を身に着けることができました。

プログラムに参加したことで英語力をはじめとする自分に足りないものに気づくことができました。現地の人たちと会話をする中で自分のつたない英語でも意外と通じるのだと実感できたのもっと英語に関する知識を身に着けていろいろな会話をできるようになりたいと感じました。

これから語学研修に参加する方の中には現地での生活が不安だという方も多いかもかもしれません。でも研修先の大学の職員がサポートしてくれたり、ホストファミリーの人が手伝ってくれたりしてくれるので心配いらないと思います。大抵のことはどうにかかります。せっかくの海外で日本語があまり使えない環境での生活の機会を逃さないでほしいと思います。

2024年春渡航

📷 工学部 機械工学科 1年 戸仲 秀貴さん

